

## 第 5 回三木市中小企業振興審議会議事録

- 1 日時・場所 平成25年8月6日(火) 午後5時00分から午後6時30分  
市庁舎4階 特別会議室
- 2 出席者 <委員6名>  
佐竹会長、鈴木副会長、鶴目委員、井澤委員、牧委員、吉見委員  
<事務局7名>  
北井副市長、永尾産業環境部長、藤原商工課長、成瀬商工課主査  
小山商工課主査
- 3 欠席者 浅野委員
- 4 会議の公開、  
非公開の別 公開
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 開 会
- 7 議 事

会長	<p>今回が最終回の予定でしたが、国の予算等も含め新たな政策を考えると、あと数回開催が必要になりました。スケジュールについては、このあと説明しますので、よろしくお願ひします。</p> <p>三木市の中小企業振興策答申骨子（案）について事務局から報告しますので、いろいろご意見いただければと思います。</p>
事務局	配布資料に基づき説明
会長	<p>それでは、中小企業振興策答申骨子（案）について、委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。</p> <p>まず、〔戦略1 時代や社会のニーズを捉え、「新分野の開拓や経営改革」を促進し、三木ブランドとして発信する〕についてご意見よろしくお願ひします。</p>
委員	三木ブランドに対して市が品質保証することでイメージアップできるのではないのでしょうか。
会長	<p>顕彰制度があれば、地域企業の信用力創造になっていいですね。成長産業分野に環境（エコ）、エネルギーも追加した方がいい。</p>

副会長	「三木」のブランド力を広げないといけない。
会長	海外への情報発信は、どう考えられていますか。
委員	山田錦を売っていくことに、どういうメリットがあるのですか。
事務局	<p>TPPのことも考えて日本酒を国内や世界に売っていかなければいけないためです。</p> <p>ただ、山田錦の生産量は農林水産省の規制がかかっているため生産量を増やすことができません。</p>
副会長	規制がかかっている限り世界に売っても消費拡大に繋がらないのですね。
会長	<p>それには、規制緩和が必要ですね。</p> <p>それでは、続いて「戦略2 三木産業を支える人材確保と人材育成を図る」についてご意見よろしくお願ひします。</p> <p>技術と技能はどうですか。金物の場合は、どちらかというとな技能だと思ひますので、技術・技能にしてください。</p>
事務局	金物の5品目は、技能ですね。
委員	新しい人材を育成し、活用し、現場の技術力を高めていくべきです。
会長	それでは、続いて「戦略3 地域内企業、異業種、産学など多様な連携を促進し、三木の産業力を強化する」についてご意見よろしくお願ひします。
副会長	「③経済団体は地域内経済活性化に貢献し、市民は、市内消費を拡大し、企業の販売力強化に資する」とは、どういうことですか。施策ではないですね。
会長	確かに施策ではないですね。販売力強化には地域内企業の連携を強化して、情報収集力やマーケティング力を強化することが大事ですね。
委員	「②市内商工業者が市内農家と連携し特産物で新製品を開発するための農商工連携を促進」とは、どういうことですか。
事務局	山田錦、ぶどう、黒豆など活かしていくということですね。
委員	農商工連携の事例として、有機野菜を使用したレストランがあり、雇用も生んでいます。地元出身の有名なシェフがいれば、その知名度

	を活かして、三木のブランドの強化を図ることができます。
会長	それでは、続いて〔戦略4 地域資源を活用した新たな産業の創出とにぎわいのあるまちを再生する〕についてご意見よろしく願います。
委員	戦略1から戦略4を通して、魅力の発信、情報の発信、イメージアップについてですが、モノとか業（なりわい）と調和した形での三木ブランド化ではないでしょうか。 若者の定住については、地域として防災面に強い点を情報発信し、イメージアップにつなげます。
会長	それでは、続いて〔戦略5 企業の挑戦や成長を支える支援体制の充実を図る〕についてご意見よろしく願います。
委員	中小企業の経営革新の支援については、ひょうご産業活性化センターが実施しておりますが、三木市の財政負担を軽減する意味でも、国の補助金の活用をアドバイスする三木市の産業振興センターのようなものが必要ではないでしょうか。
事務局	市としても、今、中小企業支援センターを設置し、中小企業診断士による総合経営相談に加えて、情報発信、ビジネスマッチングを実施していくことを考えています。
委員	地域通貨制度を導入して、高齢者のちょっとしたお手伝いの報酬に地域通貨をお支払し、地域活性化につなげてはどうでしょうか。
副会長	三木市という町のブランディングする上でも、旧来型から脱皮し、新たな形を創る時期に来ているのではないのでしょうか。従来の経営を続けるのではなく、経営革新などの新たな取り組みをやっている中小企業を支援すべきだと思います。
会長	それでは、時間もまいりましたので閉会したいと思います。次回は、委員の皆様からいただいたご意見を踏まえて、1から5の戦略を修正し、具体的な施策を提案し、ディスカッションしたいと思います。
事務局	次回の審議会のスケジュールですが、第6回を10月9日に開催します。